

平成 26 年度永田浜のウミガメに関する出来事

1. はじめに

- ・平成 26 年度に起こった永田浜のウミガメに関する出来事は、下記の 2 件。
- 1) 永田浜への立入りをご遠慮頂きウミガメ観察会も実施されない期間（5 月 1 日～14 日）における、NPO 法人屋久島うみがめ館（以下、うみがめ館）によるウミガメの産卵観察会の実施
- 2) 学習院大学教授による観察会アンケートの結果報告

2. 各事項の内容

1) 永田浜への立入りをご遠慮頂きウミガメ観察会も実施されない期間（5 月 1 日～14 日）における、NPO 法人屋久島うみがめ館によるウミガメの産卵観察会の実施

- ・うみがめ館より、一湊小学校の児童を対象にした産卵観察会（学習会）を昨年度同様実施する旨、保全協議会事務局に連絡があった。
- ・観察ルールに基づく「浜の立入りをご遠慮頂き、観察会も実施されない期間」ではあるが、地元の小学生の環境教育の一環として、事前にレクチャーを行ってから実施するので、観光客と一線引くべきではないかとうみがめ館は主張。
- ・5 月 9 日に保全協議会事務局立ち会いの下、観察会を実施。

2) 学習院大学教授による観察会アンケートの結果報告

- ・学習院大学の伊藤忠弘教授が、心理学の調査を目的に、2013 年 7 月末に永田ウミガメ連絡協議会が実施する観察会の参加者に対してアンケート調査を実施。
- ・2014 年 3 月、保全協議会事務局が伊藤教授からアンケートの結果について報告を受けた。
- ・アンケートの質問内容は、ウミガメ観察に関すること、ウミガメと動物保護に関することなど全 13 問。
- ・アンケートの結果、「感動・すばらしい」、「よかった・よい経験」という印象・感想が最も多かった。
- ・アンケートの結果を元に、「ウミガメの観察はウミガメに対する保護意識を高める」「ウミガメに対する関心は、必ずしも食用・利用を抑制するものではない（研究・展示はむしろ容認）」と分析。
- ・調査結果の活用や今後の調査継続については未定。